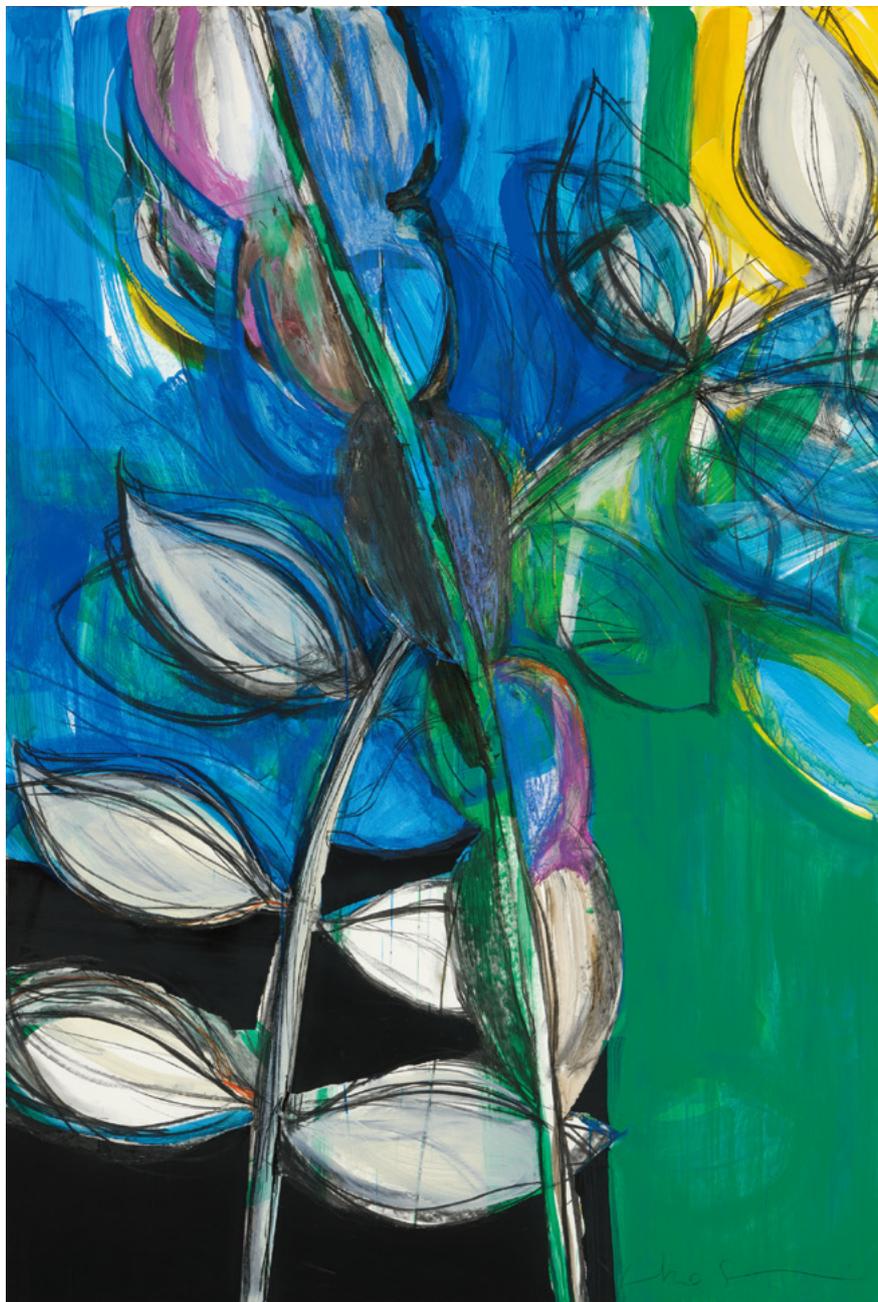


Yuko Sasai Exhibition

笹井祐子展

赤の声・青の音



風の色II パネルに紙、アクリル、木炭 194×130.5 cm 2012

6月13日(金)～7月27日(日)

開館時間／9:30～17:00 (入館は16:30まで) 休館日／火曜日 入館料／一般500円、小・中学生200円

協力=日本大学藝術学部

*笹井祐子アーティストトーク 6月28日(土)14:00より開催

越後妻有
アートナビで
チェック!

星と森の詩美術館

〒948-0101 新潟県十日町市稲葉 1099-1 Tel: 025-752-7202 Fax: 025-752-7203
<http://www.neptune.jstar.ne.jp/~hosimori/>



笹井祐子展 6月13日(金)～7月27日(日)

開館時間／9：30～17：00（入館は16：30まで） 休館日／火曜日 入館料／一般500円、小・中学生200円



Yuko Sasai Exhibition 赤の声・青の音

花々に赤の声を聞き、山水に青の音を感じとる。呼吸するように、自然の表情と戯れる。そこから私の作品は生まれてくる。そして、絵画と版画との間を行き来しながら、ドローイングで思いっきり発散しては、版画で引き締める。そんな対象との気ままな運動が私の創作方法となった。方法の振幅は視覚や聴覚や触覚などとの競演を誘い、形の解体となり色の和合ともなった。日本とメキシコの間を往来のように、「ここ」に安住できず、「あちら」へとさすらい出では、身体を感じるゆれがそのまま作品となった。今回は「90版画[期待の新人作家]大賞展」受賞作品から新作までの約40点と、手帳なども併せ、展示した。作品から空気とリズムとゆらぎを感じとっていただければうれしい。

笹井祐子

笹井祐子(ささいゆうこ)プロフィール／1966年東京都生まれ。1990年日本大学藝術学部美術学科卒業。1992年日本大学藝術学部研究所版画コース修了。1997年「現代日本の美術の動勢 版/写すこと/の試み」富山県立近代美術館(富山)、2001年「一期一会」メキシコ自治大学チョッポ美術館(メキシコ)、2005年「現代版画の潮流展」町田市立国際版画美術館(東京)、2009年「第28回損保ジャパン美術財団 選抜奨励展」損保ジャパン東郷青児美術館(東京)、2011年、「セイバのカラーリトグラフと版画展」国立印刷博物館(メキシコ)等、現在日本大学藝術学部准教授

笹井祐子さんの表現

笹井さんとは、研究会の同士として、10年余にわたって旅を共にしてきた。北は岩木山から南は開聞岳まで、さらに屋久島、奄美諸島から琉球の島々を波照間島までたどった。笹井さんの好みは、本州で言えば南方熊楠の生き方を偲ばせる南紀など、野趣ある地で、京都のようなしとやかな土地は不得意と見えた。私のように、文句や御託を並べつつも、みやびから粋、いきへと伝統感覚を身にしみ込ませてしまった人間には、ひなびた磯や浜辺が見えれば喚声をあげて駆けて行く笹井さんの自然体は羨ましくもあった。かつてみやびはひなびに脅かされつつ太った。中央は地方に、人工は自然に、洗練は野性に、気取りは素面によって活気づけられてきた。

笹井さんは磯辺を歩いては貝を捜し漂着物を拾った。浜に坐ってよくスケッチをした。喜界島でスケッチしていたとき、老漁夫が覗き込んで語りかけた。ちっとも似てないじゃん。この人、絵描きさんかい？ 当惑している笹井さんに代わって私が答えた。この人はね、景色を見てそこに聞こえる声を描き、景色の歌を聞いてそれを絵にしているんですよ。老漁夫はふしぎなものを見るように改めてスケッチを見て、景色の歌を描くなんて、そういう絵もあるんだ、と分ったような分らないような顔で頷いた。

笹井さんは頭の人、知の人ではない。五感の人、感性の人である。対象が五感と交歓し、音や響きが形や線となり、形あるものが声や歌となり、風や匂いが色となり物体となる。五感の受容したものがシンフォニーを奏で、それが表現となる。

笹井さんは洗練や気取りとは無縁の自然児である。自然体で対象と交歓し、五感で共演し合作する。対象と自然体のコレスポンドから生じる五感のコラボレーション、それが笹井さんならではの作品である。

藤原成一(元日本大学藝術学部教授、評論家、表象文化論)



夏の庭Ⅱ
リトグラフ 63×91.5cm 2006



Camino de la Orduña
リトグラフ(メキシコ産大理石) 48×39cm 2012



cielo-4
パネルに和紙、アクリル、木炭 147×325×4cm 2004

星と森の詩美術館

交通アクセス

- ・JR飯山線・ほくほく線「十日町駅」より車で10分
- ・関越自動車道越後川口ICより R117 経由 25分
- ・関越自動車道六日町ICより R253 経由 35分
- ・北陸自動車道柏崎ICより R252 経由 50分
- ・北陸自動車道上越ICより R253 経由1時間10分

〒948-0101 新潟県十日町市稲葉 1099-1
Tel: 025-752-7202 Fax: 025-752-7203
<http://www.neptune.jstar.ne.jp/~hosimori/>



越後妻有
アートナビで
チェック!

